

# 第26回 全日本学生 グライダー新人競技大会

2023年9月9日(土)～9月15日(金)

会場：木曾川滑空場



2022年 第25回大会

主催  
日本学生航空連盟  
朝日新聞社

## 第 26 回全日本学生グライダー新人競技大会要項

- 主 催** (公財) 日本学生航空連盟、(株) 朝日新聞社
- 後 援** 岐阜県、海津市、愛西市、羽島市、(株) 日刊スポーツ新聞西日本、  
(公社) 日本滑空協会、東海・関西学生航空連盟
- 協 賛** 全日本空輸 (株)、日本航空 (株)、三菱重工業 (株)、  
川崎重工業 (株)、(株) SUBARU、東京海上日動火災保険 (株)、  
鈴与グループ、清水医院  
(以上順不同)
- 開 催 地** 岐阜県海津市日原地先 日本学生航空連盟 木曾川滑空場
- 期 日** 2023年9月9日(土)～9月15日(金)  
・ 集 合 9月8日(金) 午後 1時  
・ 開会式 9月9日(土) 午前10時、終了後慣熟飛行  
・ 競技飛行 9月10日(日)～15日(金)  
・ 閉会式 9月15日(金) 午後 3時
- 競技種目** 審判委員同乗による基本操縦操作(ウインチ曳航による)
- 機 材** ASK-13 および ASK-21
- 採点方法** 全日本学生グライダー新人競技大会規則及び細則による
- 表 彰**
- ・ 個人・団体ともに得点上位6位までを表彰する。
  - ・ 個人優勝者に海津市長杯、東海・関西学生航空連盟杯を授与。
  - ・ 団体優勝校に朝日新聞社杯を授与。

# 大会役員

(敬称略)

<b>大会会長</b>	日本学生航空連盟 会長	利根川 豊
<b>副会長</b>	朝日新聞社航空部 部長	田中孝文
	日本学生航空連盟 専務理事	谷川 史郎
<b>顧問</b>	日本学生航空連盟 評議員 大阪大学名誉教授・大阪大谷大学教授	那須 正夫
	日本学生航空連盟 評議員 愛知学院大学教授・航空部長	蛸島 直
<b>参与</b>	日本学生航空連盟 理事・関東地区連絡会会長 法政大学教授・航空部長	御法川 学
	日本学生航空連盟 理事・東海地区連絡会会長 岐阜大学教授・航空部長	高橋 周平
	日本学生航空連盟 理事・関西地区連絡会会長 大阪大学教授・航空部長	福本 信次
	日本学生航空連盟 理事・西部地区連絡会会長 九州大学教授・航空部長	東野 伸一郎
	日本学生航空連盟 競技担当理事	鈴木 道弘
	日本学生航空連盟 教育訓練・安全担当理事	太田 洋一

# 大会実行委員

(敬称略)

<b>実行委員長</b>	東海・関西学生航空連盟 代表理事	太田 泰史
<b>競技委員長</b>	日本学生航空連盟 福井訓練所長	田口 昇
<b>競技委員</b>	日本学生航空連盟 妻沼訓練所長	栗山 修
〃	日本学生航空連盟 久住訓練所長	牧田 厚雄
〃	東海・関西学生航空連盟 指導員	若 干 名
<b>審判委員長</b>	大野滑空場管理運営委員長・名城大学コーチ	堀田 省二郎
<b>審判委員</b>	大阪工業大学 監督	辻 埜 孝義
〃	東海・関西学生航空連盟 指導員	若 干 名
<b>整備委員長</b>	日本学生航空連盟 福井訓練所長	田口 昇
<b>整備委員</b>	日本学生航空連盟 東海・関西地区学生委員	若 干 名
<b>総務委員長</b>	日本学生航空連盟 理事・事務局長	深 田 浩
<b>総務副委員長</b>	東海・関西学生航空連盟	岸 恒 夫
<b>総務委員</b>	日本学生航空連盟 事務局	鈴 木 仁
<b>救護委員長</b>	大阪工業大学 監督	辻 埜 孝義
<b>救護委員</b>	日本学生航空連盟 東海・関西地区学生委員	若 干 名
<b>学生運営委員長</b>	関西地区委員長 立命館大学	澤 山 彰 太
<b>学生運営委員</b>	東海地区委員長 名古屋大学	細 田 凌 我
〃	関西地区副委員長 関西大学	山 本 準 之 介
〃	東海地区副委員長 名古屋工業大学	榊 原 一 真

## 出場選手/補欠登録一覧

地区	大学	ゼッケン	氏名	学年	性別	チーム リーダー	総飛行時間 時間+分	総飛行回数
東海地区	名城大学	1	やました ゆうと 山下 夢叶	2	M	○	4+20	32
		2	おおつか たつや 大塚 達也	2	M		3+21	28
		補欠	ひがしやま あづは 東山 あづ葉	2	F		2+35	17
	名古屋大学	3	なかがわ そう 中川 聡	2	M	○	9+38	72
		5	まつい ひびき 松井 響輝	2	M		15+40	92
		補欠	いしわた あんじゅ 石綿 杏樹	2	F		8+23	62
補欠	ほらだ たいせい 原田 泰成	2	M		8+57	64		
岐阜大学	6	みわ ゆうき 三輪 勇貴	2	M	○	3+47	32	
関西地区	神戸大学	7	きたがわ たすく 北川 賛	2	M	○	4+00	37
	関西学院大学	8	いしだ こうた 石田 倅汰	2	M	○	8+43	64
	大阪大学	9	みずたに たいち 水谷 太一	2	M	○	9+05	81
	龍谷大学	10	まつばら あやな 松原 彩奈	2	F		8+19	55
		11	おおまさ たかとし 大政 貴俊	2	M	○	12+08	25
		補欠	くらにし けい 倉西 慶	2	M		1+44	21
	関西大学	12	くにもと ゆうだい 國本 雄大	2	M	○	8+37	55
		13	よこばやし しょうた 横林 翔太	2	M		4+49	32
		補欠	まつばら たくみ 松原 拓海	2	M		4+16	30
		補欠	なかむら しゅんいちろう 中村 俊一朗	2	M		5+14	34
	大阪工業大学	14	あらき しゅんや 荒木 俊哉	2	M	○	5+54	40
		15	もりたに ひとみ 森谷 仁美	2	F		7+16	50
		補欠	うらべ しょうき 占部 翔己	2	M		1+59	13
		補欠	おおた しゅんすけ 太田 俊輔	2	M		2+28	26
	京都大学	16	まつき そうま 松木 奏磨	2	M	○	7+38	47
		17	ひがしうら あや 東浦 あや	2	F		12+31	98
		補欠	ふかお こうき 深尾 晃希	2	M		5+27	41
		補欠	たけい けん 武井 健	2	M		10+28	67
同志社大学	18	くぼた りょうすけ 久保田 良介	2	M	○	3+24	26	
	補欠	きんじょう りかこ 金城 リカコ	2	F		3+00	15	
	補欠	かまた りくと 鎌田 陸叶	2	M		2+48	20	

地区	大学	ゼッケン	氏名	学年	性別	チーム リーダー	総飛行時間 時間+分	総飛行回数
西部 地区	九州大学	19	やまさき たいせい 山崎 大生	2	M	○	5+20	50
	熊本大学	20	かまだ こうたろう 鎌田 孝太郎	2	M	○	7+34	77
	九州工業大学	21	こんだ りくと 今田 理久人	2	M	○	13+05	108
		22	ばば ぎんじ 馬場 銀士	2	M		16+18	114
東日 本地 区	東京大学	23	ながい たくと 永井 琢翔	2	M	○	21+53	101
		24	おおおか ひろや 大岡 寛英	2	M		17+03	88
	立教大学	25	おがわ まさき 小川 真毅	2	M	○	10+28	60
		26	なんも りお 南茂 凛音	2	M		5+04	36
	東京理科大学	27	まし ともき 岸 知輝	2	M	○	7+40	45
		28	すずき いろは 鈴木 彩華	2	F		11+00	50
	防衛大学校	29	なかむら はじめ 中村 一創	2	M	○	24+01	86
	信州大学	30	ほしば ほのか 保志場 暖	2	F	○	19+49	100
	学習院大学	31	もり しんと 森 信人	2	M	○	8+04	47
		32	しょうじ まこと 庄司 誠	2	M		9+07	56
	早稲田大学	33	みやた こうたろう 宮田 航太郎	2	M	○	11+16	75
		34	まきの こうたろう 牧野 航太郎	2	M		5+18	27
		補欠	まつお だいが 松尾 大雅	2	M		10+37	51
		補欠	ほそかわ こうき 細川 航希	2	M		8+47	53
	関東学院大学	35	かつおか しんじ 勝岡 晋士	2	M	○	14+00	85
	東京工業大学	36	さとう あおい 佐藤 碧生	2	M	○	6+21	30
	日本大学	37	えんどう たくと 遠藤 拓登	2	M	○	4+21	30
		38	おおち こうご 大地 空悟	2	M		5+37	32
		補欠	とみた まさと 富田 雅人	2	M		4+12	29
	法政大学	39	ほそや りゅうと 細谷 琉渡	1	M	○	13+06	71
40		しのづか ましゅう 篠塚 真舟	2	M		12+06	59	
補欠		いしだ しゅんや 石田 峻也	2	M		11+17	65	
補欠		やました せいしゅん 山下 晴駿	2	M		9+02	70	

地区	大学	ゼッケン	氏名	学年	性別	チーム リーダー	総飛行時間 時間+分	総飛行回数
東 日 本 地 区	慶應義塾大学	41	つかはら ちあき 塚原 千晶	2	F	○	25+23	169
		43	たかはし こうや 高橋 昂弥	2	M		18+25	127
		補欠	おの とわ 小野 とわ	2	F		24+59	162
		補欠	みょうじょう ゆうた 明星 悠大	2	M		23+38	158
	慶應義塾高等学校	44	きしもと りゅうせい 岸本 琉聖	2	M	○	11+11	85
		45	いの たいよう 飯野 大耀	2	M		6+14	53
	明治大学	46	おぎはら ゆうだい 荻原 雄大	2	M	○	13+17	66
		47	やまだ まいと 山田 舞刀	2	M		6+43	50
	青山学院大学	48	みやた しゅう 宮田 周	2	M	○	13+57	85
		49	おおしま そうすけ 大島 漱輔	2	M		12+58	80
		補欠	あべ たくま 阿部 拓馬	2	M		12+27	74
		補欠	こばやし せいち 小林 生知	2	M		10+33	56
	中央大学	50	よこやま ゆうや 横山 侑哉	2	M		45+05	194
		51	たみや しょうすけ 民谷 祥涼	2	M	○	19+46	110
		補欠	あんざい みほ 安斎 美帆	2	F		12+56	75
		補欠	とけし こうた 渡慶次 孝太	2	M		12+47	74

※以上出場 30校 49選手 23補欠。ゼッケン番号4、42は欠番。

※飛行経歴は8月17日出場申込時点のものです。

## 新 人 戦 規 定

### 【総 則】

- 第1条 本競技会は日本学生航空連盟全日本学生グライダー新人競技大会（以下 新人戦という）と称する。
- 第2条 本新人戦は公益財団法人 日本学生航空連盟（以下 連盟という）定款第3条の定めるところにより、競技を通じて学生グライダースポーツの向上と健全なる心身の育成をはかり、もって航空文化の発展と体育の振興に寄与することを目的とする。

### 【本 部】

- 第3条 本新人戦は本部を新人戦開催地におく。本部は本新人戦の運営を統括する。
- 第4条 本新人戦には次の役員をおく。  
会長1名、副会長5名までとする。  
会長は本新人戦の運営を総理し、本新人戦のすべての事務を統括する。  
副会長は会長を補佐し、会長に事故があった時は、その1名はその職務を代行する。

### 【顧問 参与】

- 第5条 本新人戦には、顧問および参与をおくことができる。顧問は会長の相談に応じ、参与は新人戦の運営に参与する。

### 【委 員】

- 第6条 本新人戦の事務を処理するため、本部に実行委員、総務、競技、整備、審判、救護ならびに学生運営の各委員を若干名おく。各委員は次に定める事務分掌に従って、所管の事務を処理する。
- 第7条 総務委員は次の事務を分掌する。
- (1) 一般庶務に関する事項
  - (2) 新人戦の経理に関する事項
  - (3) 設営に関する事項
  - (4) 招待、渉外に関する事項
  - (5) 警備に関する事項
  - (6) 広報に関する事項
  - (7) 他の所管に属さない事項
- 第8条 競技委員は次の事務を分掌する。
- (1) 競技の進行に関する事項
  - (2) 競技用機材に関する事項
  - (3) 気象に関する事項
  - (4) 競技記録に関する事項



- (5) 放送発表に関する事項
- (6) 運営管理全般に関する事項

第9条 整備委員は次の事務を分掌する。

- (1) 滑空機等の整備に関する事項
- (2) 機材、競技用具、資材、工具等の整理
- (3) 機材の修理に関する事項

第10条 審判委員は次の事務を分掌する。

- (1) 競技の審判に関する一切の事項

第11条 救護委員は次の事務を分掌する。

- (1) 救護に関する全般の事項
- (2) 出場選手の健康管理に関する事項

第12条 学生運営委員は次の事務を分掌する。

- (1) 総務、競技、整備および救護の各委員を補佐する
- (2) 宿舍、食事に関する事項

#### 【参加資格】

第13条 本新人戦の参加資格は次に定める。

- (1) 本連盟加盟大学および高等学校の航空部在籍期間が通算2年以内の航空部員であること
- (2) 過去に本大会に出場経験のないこと。(補欠登録のみは含まない)
- (3) 在学2年以内であること(休学年数は含まない)
- (4) 休学中でないこと
- (5) 有効な技能証明・身体検査証明または航空機操縦練習許可書を所持する者
- (6) 本連盟諸規定に違反しないもの

#### 【チーム編成】

- 第14条 (1) 1チームの選手は2人以内とし、補欠を含めて4人まで登録することができる。
- (2) 1校1チームまでとする。

以上

## 新人戦競技規則

### 【総 則】

1. この規則は日本学生航空連盟全日本学生グライダー新人競技大会（以下新人戦という）における競技の運営について定める。
2. この規則は新人戦の競技種目、実施の方法および各種競技の成績順位を定め、新人戦の適切な運営を図ることを目的とする。

### 【競技種目】

3. 競技種目は次の通りとする。
  - (1) 基本操作
  - (2) 空中応用操作
  - (3) 総合能力
  - (4) 指定地着陸

### 【参 加】

4. 競技に参加する選手はチームを編成し、チームごとに指定の申込書により申し込むものとする。

### 【発航権】

5. 発航権は選手単位で有する。発航の順位は抽選により決める。

### 【競技機材】

6. 競技機は、アレキサンダーシュライハー式ASK-13型とASK-21型とする。
7. 競技機は、有効な耐空証明を有するものでなければならない。
8. 競技機、トレーラー、無線機など必要な機材は、東海・関西地区学生委員会で準備する。

### 【保 険】

9. 競技機には参加者の負担において、第三者賠償責任保険、機体保険および搭乗者傷害保険もしくは旅行傷害保険に加入契約するものとする。

### 【競技の運営】

10. 競技はすべて競技委員の指示に従って行う。
11. 競技は出場した選手のすべてが、規則6の競技機ごとに1回の発航を終えたとき成立する。
12. 競技機の飛行は離陸によって始まり、着陸をもって終了し、その成績は発航準備に始まり、着陸によって終了する。
13. 競技中における指示、連絡、通報などは原則として、滑空訓練用携帯無線機を使用する。
14. 策切れ、ウインチトラブル等正常な発航ができない場合は、選手の意志により再飛行することができる。

### 【飛行成績】

15. 競技者の成績は、同乗の審判委員が別に定める採点様式に基づいて決定する。

## 【表 彰】

16. 次に定める計算方式により、得点最高位から6位までの団体、個人を表彰する。

### (1) 団体成績

各選手の個人得点の合計をもってチーム得点とする。ただし、1人でチームを構成している場合には、団体成績は考慮されない。

### (2) 個人成績

選手全員が同一審判委員による競技飛行を終了した時、その飛行が有効とされ、有効な競技得点の合計をもって個人得点とする。選手が自分の発航を棄権した場合には、その飛行得点は零点として計算する。

## 【審 判】

17. 審判委員は競技者の順位別に関する諸問題を決定し、緊急問題を裁断する。

## 【飛行の安全】

18. 競技会期間中の飛行はすべて航空法、令、規則および日本学生航空連盟訓練関係諸規則により、安全に行わなければならない。

19. 競技機が着陸のため進入する時は、運航管理委員の指示に従うものとする。

20. 競技者は、飛行安全のために万全を期さなければならない。

## 【補 則】

21. 緊急の場合はこの規則にかかわらず、競技者は自己の安全のための最善の方法をとることができる。

以上

## 全日本学生グライダー新人競技大会細則

1. この細則は、新人戦競技規則（以下、規則という）に基づき「全日本学生グライダー新人競技大会」の運営に適用する。

2. 規則3に規定する指定された課目は、次のとおりとする。

基本操作	発航準備、ウインチ曳航、離脱、直線滑空と旋回*1 場周経路の飛行、着陸、指定地判定
空中操作*2	低速飛行、急旋回、失速と回復操作、最小沈下速度による滑空、最良滑空比速度による滑空、ソアリング
総合能力	計画力・判断力、対空警戒

**注** 各課目の実施要領は、自家用操縦士の技能審査実施細則による。

\*1 直線滑空と旋回は場周に入るまでの飛行について採点する。

\*2 空中操作は飛行ごとに2課目選択する。課目の実施、やり直し、変更はその都度審判に告げること。

3. 規則16の採点様式は、別紙の採点票とし、採点要領は、次のとおりとする。

項目	適用	備考
採点	各課目ごとに10点満点で採点する 円滑かつ正確である 9.0～ 安定している 7.0～8.9 アドバイスが必要 5.0～6.9 操縦の補助が必要 3.0～4.9 危険を伴う ~2.9	採点は0.1点より細かくしない
指定地判定	減点法とする ロングの場合 減点2 横へ外れた場合 減点2 ショートの場合 減点5	ショート側は機体が最初に接地した地点、 ロング側は主輪が接地した地点で判定する (地上判定員の判定による)
審判委員	公平さを保つため原則として審判委員 と機体をラウンド終了まで固定する	

4. その他

- (1) 競技機以外の航空機は競技の進行中に、競技に影響を及ぼす可能性のある飛行を行ってはならない。
- (2) 競技期間中、競技委員の行うミーティングには各チームリーダーが必ず出席しなければならない。ミーティングの際、指示する飛行上、安全上の事項および競技運営に必要な事項は補充規則とみなされる。

以上

## 第26回 全日本学生グライダー新人競技大会 採点票

ラウンドNO. \_\_\_\_\_ 飛行日 \_\_\_\_\_  
 競技機 ASK13/ASK21 R/W 36/18

選手(ゼッケン) \_\_\_\_\_ ( ) 審判 \_\_\_\_\_

課 目		採 点 (0~10)
基本操作	1. 発航準備 2. ウインチ曳航 3. 離脱 4. 直線滑空と旋回 5. 場周経路の飛行 6. 着陸	_____ _____ _____ _____ _____
空中操作 (2課目実施)	1. 低速飛行 2. 急旋回 3. 失速と回復操作 4. 最小沈下速度による滑空 5. 最良滑空比速度による滑空 6. ソアリング	_____ _____
総合能力	1. 計画力・判断力  2. 対空警戒	_____ _____
	ショート -5      □ング -2 横ずれ -2	_____
得 点		

採点の目安：

円滑かつ正確である	9.0～
安定している	7.0～8.9
アドバイスが必要	5.0～6.9
操縦の補助が必要	3.0～4.9
危険を伴う	～2.9

## 【大会小史】

- 第1回大会** (木曾川) 個人優勝 有坂 徹 (慶應義塾大学)  
H.10(1998) 11/19-25 団体優勝 大阪大学
- 第2回大会** (木曾川) 個人優勝 中西 裕介 (慶應義塾大学)  
H.11(1999) 11/19-25 団体優勝 慶應義塾大学
- 第3回大会** (木曾川) 個人優勝 高戸 直之 (慶應義塾大学)  
H.12(2000) 11/21-26 団体優勝 慶應義塾大学
- 第4回大会** (木曾川) 個人優勝 五十嵐 健大 (慶應義塾大学)  
H.13(2001) 11/18-24 団体優勝 慶應義塾大学
- 第5回大会** (木曾川) 個人優勝 盛谷 法浩 (慶應義塾大学)  
H.14(2002) 9/30-10/6 団体優勝 早稲田大学
- 第6回大会** (木曾川) 個人優勝 山木 泰 (慶應義塾大学)  
H.15(2003) 10/4-10 団体優勝 慶應義塾大学
- 第7回大会** (木曾川) 個人優勝 大堀 宏海 (慶應義塾大学)  
H.16(2004) 10/2-8 団体優勝 慶應義塾大学
- 第8回大会** <中止>
- 第9回大会** (木曾川) 個人優勝 伊村 隆宏 (慶應義塾大学)  
H.18(2006) 9/30-10/6 団体優勝 慶應義塾大学
- 第10回大会** (木曾川) 個人優勝 松居 史晃 (慶應義塾大学)  
H.19(2007) 10/14-20 団体優勝 慶應義塾大学
- 第11回大会** (木曾川) 個人優勝 後藤 真徹 (慶應義塾大学)  
H.20(2008) 10/12-18 団体優勝 慶應義塾大学
- 第12回大会** (木曾川) 個人優勝 小林 聡一 (慶應義塾大学)  
H.21(2009) 10/11-17 団体優勝 慶應義塾大学
- 第13回大会** (木曾川) 個人優勝 堀 雄一 (名古屋大学)  
H.22(2010) 10/10-16 団体優勝 慶應義塾大学
- 第14回大会** (木曾川) 個人優勝 萩原 大樹 (慶應義塾大学)  
H.23(2011) 10/9-15 団体優勝 慶應義塾大学
- 第15回大会** (木曾川) 個人優勝 安達 拓人 (早稲田大学)  
H.24(2012) 10/4-9 団体優勝 慶應義塾大学
- 第16回大会** (木曾川) 個人優勝 井上 翔太 (同志社大学)  
H.25(2013) 10/10-15 団体優勝 慶應義塾大学
- 第17回大会** (木曾川) 個人優勝 山崎 慶太 (京都大学)  
H.26(2014) 10/10-15 団体優勝 法政大学
- 第18回大会** (木曾川) 個人優勝 松村 亮汰 (慶應義塾大学)  
H.27(2015) 10/9-15 団体優勝 早稲田大学
- 第19回大会** (木曾川) 個人優勝 保谷 蒼有森 (慶應義塾大学)  
H.28(2016) 9/29-10/4 団体優勝 明治大学
- 第20回大会** (木曾川) 個人優勝 武藤 祐貴 (慶應義塾大学)  
H.29(2017) 9/25-9/30 団体優勝 慶應義塾大学

**第21回大会** (木曽川) 個人優勝 伊藤 万貴 (早稲田大学)  
※同点につき優勝者2名 個人優勝 田辺 悠介 (慶應義塾大学)  
H30(2018)9/8-9/14 団体優勝 早稲田大学

**第22回大会** (木曽川) 個人優勝 市川 達也 (慶應義塾大学)  
H31(2019)9/7-9/13 団体優勝 慶應義塾大学

**第23回大会** <新型コロナウイルス流行のため中止>

**第24回大会** <新型コロナウイルス流行のため中止>

**第25回大会**(木曽川) 個人優勝 越前 卓馬 (慶應義塾大学)  
R.04(2022)9/10-9/16 <個人戦のみ実施。団体戦無し>



*JSAL*

Japan Students Aviation League



SINCE 1930

公益財団法人 日本学生航空連盟

〒105-0004

東京都港区新橋 1-18-2 明宏ビル本館 5F

TEL:03-6206-1235

FAX:03-6206-1357

E-mail: [contact@jsal.or.jp](mailto:contact@jsal.or.jp)

<https://www.jsal.or.jp>